

日本社会福祉学会 第73回秋季大会 (2025年度)

プログラム



現代社会福祉学の思想的基盤 ー 理論と実践の根源を問う ー

会 期

2025年 10月 4日 (土) ~ 5日 (日)

会 場

同志社大学 今出川校地
室町キャンパス & 今出川キャンパス
(〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸上る)

大会長

小山 隆 (同志社大学社会学部 教授)

事務局

第73回秋季大会 (同志社大学)

〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸上る

【実行委員長】 空閑 浩人 (社会学部 教授)

大会ホームページ

<https://www.jssw.jp/conf/73/>



開催概要

日本社会福祉学会第73回秋季大会

<https://www.jssw.jp/conf/73/>

テーマ 現代社会福祉学の思想的基盤－理論と実践の根源を問う－

会 期 2025年10月4日(土)～5日(日)

現 地 会 場 同志社大学今出川校地（室町キャンパス&今出川キャンパス）
（〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸上る）

大会長 小山 隆 （同志社大学社会学部教授）

実行委員長 空閑 浩人 （同志社大学社会学部教授）

主 催 一般社団法人 日本社会福祉学会
日本社会福祉学会第73回秋季大会実行委員会

参 加 費

区分	早割料金 ～9月1日(月)	通常料金 9月2日(火)～
会員	8,000円	10,000円
非会員	9,000円	11,000円
大学院生・学部生	3,000円	4,000円
情報交換会 (9月8日23:59迄)	5,000円	

＊ 日本社会福祉学会は、免税事業者のためインボイス非対応です

＊ 正会員の内、大学院生・大学生・専門学校生の学生が、9月1日までに所定の申請手続きをして承認された者は、その年の秋季大会の参加費が免除され無料になります。

◆ 受付窓口 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター
日本社会福祉学会大会ヘルプデスク第73回秋季大会係
Fax:03-5227-8632 E-mail:jssw-desk@conf.bunken.co.jp

◆ 運営協力・プログラム冊子編集 株式会社ユピア

同志社大学今出川校地
室町キャンパス 寒梅館 & 今出川キャンパス 良心館[illegible]

会場と配置図

同志社大学今出川校地 (室町キャンパス & 今出川キャンパス)

〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸上る

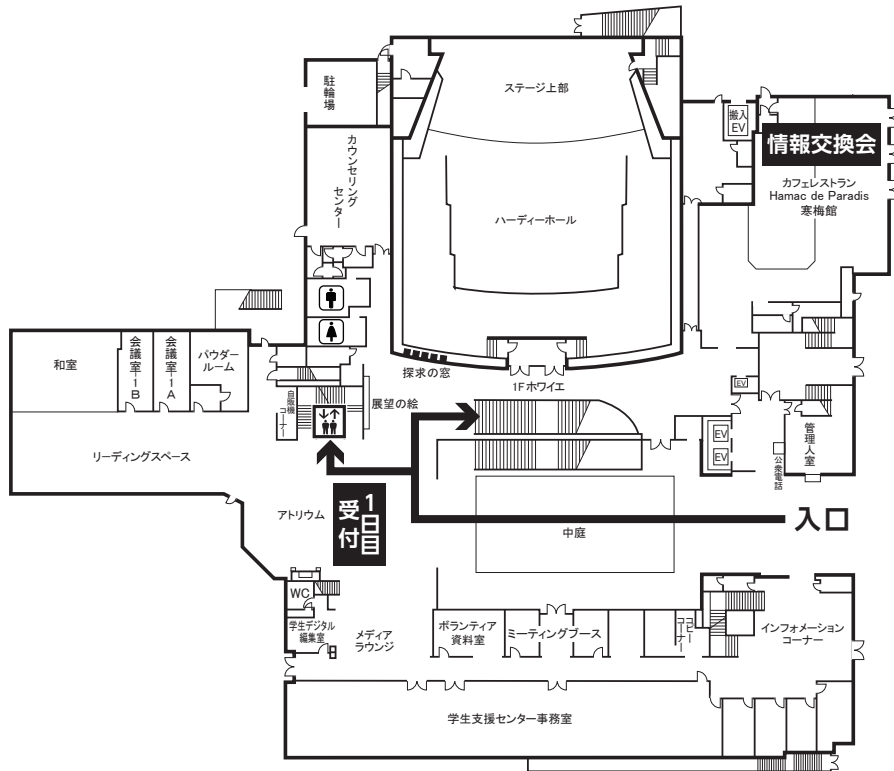
室町キャンパス・今出川キャンパスとも、
最寄り駅は 京都市営地下鉄 烏丸線「今出川(いまでがわ)」駅になります。
会場となる寒梅館と良心館は、烏丸通りを挟んで向かい側にあります。



会場配置図

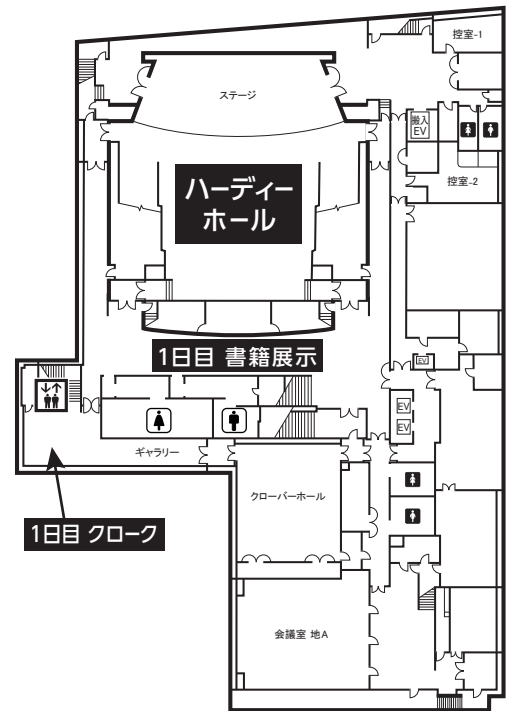
同志社大学今出川校地（室町キャンパス & 今出川キャンパス）

〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸上る



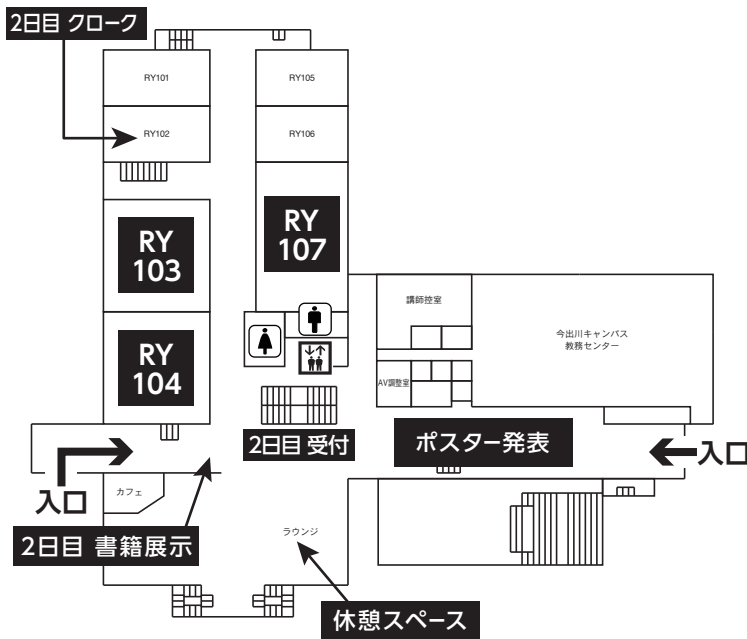
室町キャンパス
寒梅館

1F



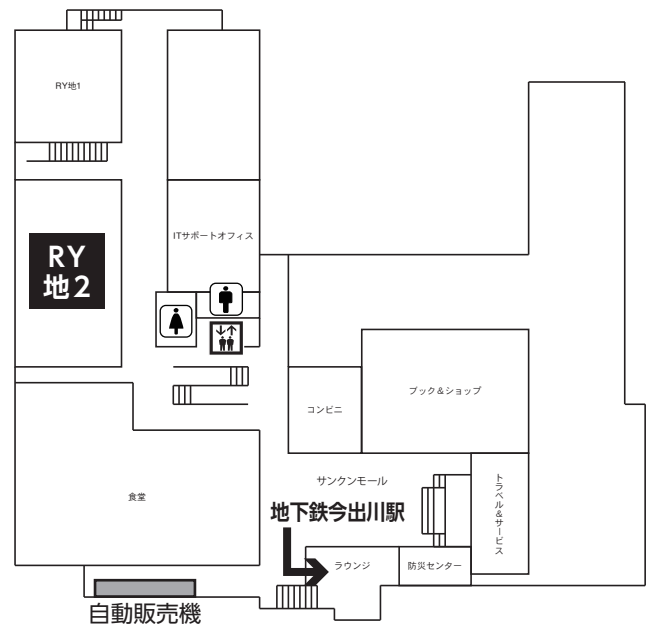
室町キャンパス
寒梅館

B1



今出川キャンパス
良心館

1F

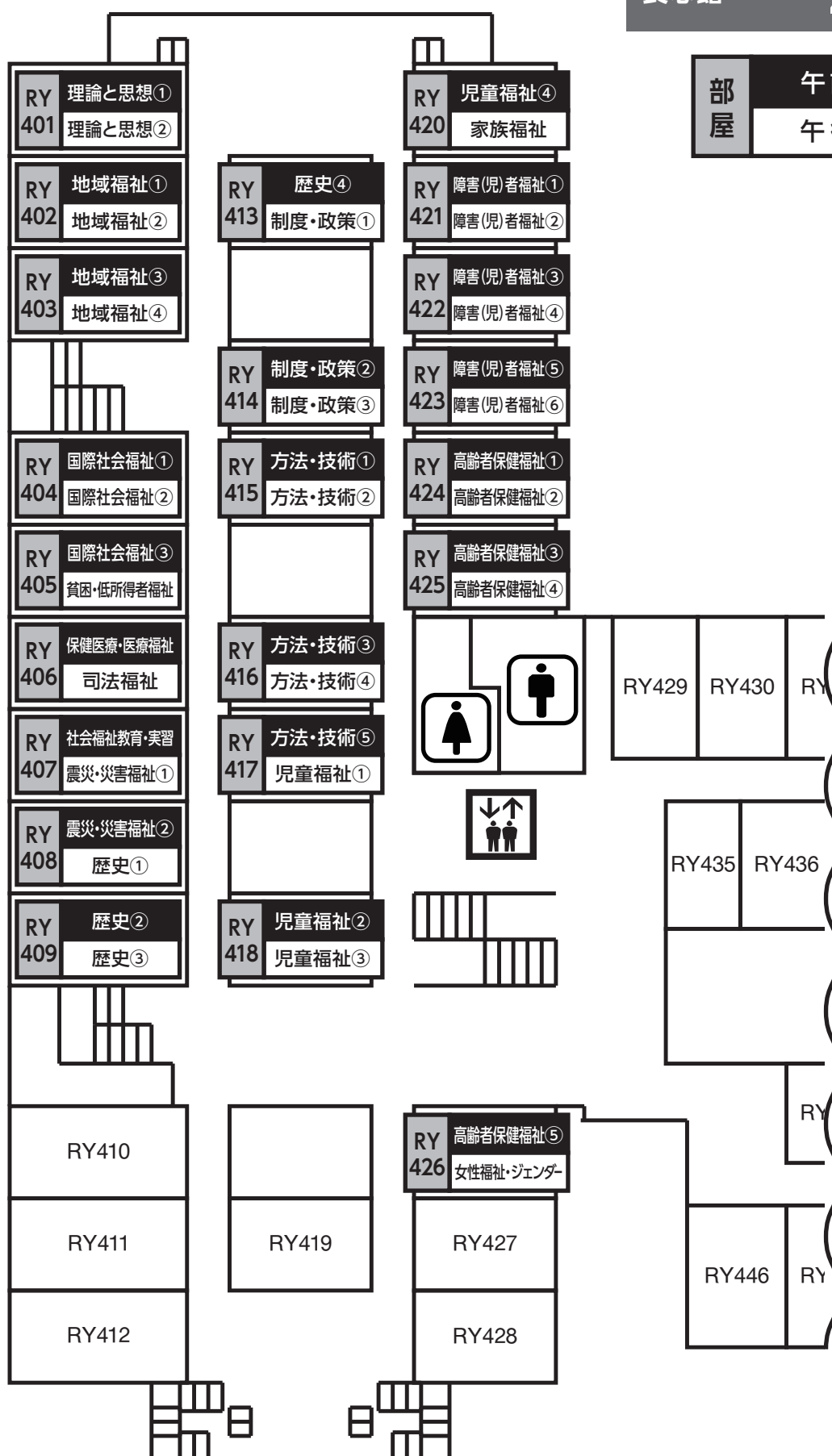


今出川キャンパス
良心館

B1

今出川キャンパス
良心館 4F

部屋	午前
部屋	午後



参加案内

1. 受付

日程	場所	受付時間
10月4日(土)※	同志社大学 室町キャンパス 寒梅館 地下1階	11:00～16:00
10月5日(日)	同志社大学 今出川キャンパス 良心館 1階	9:00～15:30

※ 10月4日(土)午前の初期キャリア研究者研究交流会については、受付開始前ですが、9:00より会場に入室できます。

ご参加の方は、直接、今出川キャンパス 良心館のRY104教室へお越しください。

大会参加証(名札)を印刷してご持参ください

大会の参加証を持参された方は、受付の必要はございません。

大会参加証は、大会参加申込システムからオンラインで、ご自身で発行できます。

会場に用意するネームホルダーに入れてご着用ください。

<現地会場での当日参加受付について>

- ・ 大会当日は、現金での参加申込の受付は行いません。
当日であっても、大会参加申込システムからオンラインで申し込みを行い、クレジット決済でお支払いを行ってください。
- ・ 大会参加費免除(学生)の方も、大会参加申込システムからオンラインで申し込みを行ってください。なお、参加費の支払いはありません。

2. クローク

日程	場所	対応時間
10月4日(土)	同志社大学 室町キャンパス 寒梅館 地下1階	11:00～19:30
10月5日(日)	同志社大学 今出川キャンパス 良心館 1階	9:00～15:30

上記のようにクロークを設置します。必ず時間内にお受け取りください。

貴重品はお預かりできませんこと、ご了承ください。

なお、情報交換会にご参加の方は、お荷物をクロークに預けたまま情報交換会の会場(室町キャンパス 寒梅館1Fアマーク・ド・パラディ)へご移動いただけます。

3. 昼食・休憩

両日とも、良心館 1階 ラウンジを休憩室(飲食可能)としてお使い頂けます。

会場内で飲食が可能な場所は以下の通りです。

昼食をお持ち込みいただいても結構ですが、ゴミはお持ち帰りください。

飲料の自動販売機は、寒梅館 1F、および 良心館 地下1階食堂付近にあります。

また、近隣には飲食店・コンビニエンスストアがいくつかございます。

日程	場所	
10月4日(土)	室町キャンパス	寒梅館 中庭
	今出川キャンパス	良心館 1階 ラウンジ 良心館 地下1階 食堂(10:30~15:00)
10月5日(日)	今出川キャンパス	良心館 1階 ラウンジ 良心館 地下1階 食堂(11:00~15:00)

4. 書籍展示

書籍展示の場所は以下の通りです。

日程	場所	
10月4日(土)	室町キャンパス	寒梅館 地下1階 ハーディーホール前
10月5日(日)	今出川キャンパス	良心館 1階 受付付近

5. Wi-Fi

以下のWi-Fiが利用できます。また、接続のサポートは致しかねますことをご了承ください。

また、通信環境の保証は致しかねますので、ご自身の責任でご利用ください。

配信や動画視聴など、通信負荷が大きくなる利用はできるだけ避けて頂くとともに、利用後は接続を切断していただきますようお願いいたします。

<接続情報>

SSID		DO-NET1x
ログイン情報	ユーザーID(login名)	guest012
	パスワード	c6BsXn6a

6. その他会場内での留意事項

- ・ キャンパス内は全面禁煙です。
- ・ 発表については、発表者に著作権や肖像権等の権利があります。講演・口頭発表・ポスター発表いずれについても、発表者に許可なく撮影や録音をすることは権利侵害にあたりますのですべて禁止いたします。十分にご留意ください。

7. 開催後のオンデマンド配信について

以下のプログラムは、開催の1週間後頃より、会場開催の記録動画をオンデマンド配信する予定です。配信開始時にはご参加の皆様へメールでご連絡します。参加者に限りURLやパスワードをご案内しますので、他の方には伝えないでください。

<オンデマンド配信対象プログラム>

開会式～学会賞授与式、基調講演・大会校企画シンポジウム、
留学生と国際比較研究のためのワークショップ、学会企画セッション

研究発表 発表者の方へ

準備や発表成立条件に関する詳細は、大会ホームページ「作成要領」「発表要領」のページをご参照ください。

口頭発表、特定課題セッション

- ・ 発表者の方は、USBメモリ等で発表に利用する映写用ファイル(PowerPoint等)をご持参ください。
(映写用ファイルなしで、抄録等を用いて口頭で発表することも可能です)
- ・ セッション開始の20分前までに会場へ入室してスタッフへお声掛けください。
映写用ファイルをお持ちの方は会場のPCにファイルをコピーし、試写を行っていただきます。
- ・ 口頭発表では、発表時間は報告15分、質疑応答10分です。
また、各分科会の後半において、全体討議の時間を20分設定します。
- ・ 特定課題セッションは150分間で、コーディネーターによる特定課題の説明5分、報告者による発表15分、事実関係に関する質疑5分です。休憩後に全体討議の時間となります。
- ・ 発表者はセッション終了まで会場を退席することはできませんので、ご了承ください。

ポスター発表

<ポスター掲示・発表・撤去時間>

日程	掲示時間	セッション(発表)時間	撤去時間
大会2日目	8:30～11:45	11:45～12:25	14:00まで

- ・ 上記の掲示時間内に、自身の演題番号のパネルにポスターを掲示してください。
- ・ 画びょうでの貼付となります(画びょうは大会が準備します)。
- ・ 時間内の掲示・撤去にご協力をお願いいたします。なお、撤去時間を過ぎても撤去されていないポスターは大会側で処分させていただきますことをご了承ください。
- ・ 2日目の11:45～12:25にポスターセッションを行います。この時間は発表者がポスターの前に立ち、参加者からの質疑応答に対応してください。

座長・コーディネーターの方へ

- ・ セッション開始の20分前に会場へ入室してください。
- ・ 発表者が、当日配布資料を準備されている場合には、日本社会福祉学会研究倫理規程にもとづく研究ガイドラインに照らして問題がないかどうかご確認ください。配付物は、担当スタッフからお受け取りください。
- ・ 「口頭発表」は、報告15分・質疑応答10分、全体討議20分です。
発表が4演題とすると、1分科会の合計は120分(2時間00分)となります。
- ・ 「特定課題セッション」は、1セッションあたり150分(2時間30分)となります。
コーディネーターによる特定課題の説明5分の後、それぞれの報告20分(発表15分、事実関係に関する質疑5分)、全報告終了後に休憩10分をお取りいただき、最後に共同討議45分、コーディネーターによる総括10分という進行でお願いいたします。
- ・ 発表者の欠席が出た場合には、発表を繰り上げず、休憩時間としてください。
- ・ その他、事前にお送りしている案内をご参照の上、進行をお願いいたします。

プログラム一覧

第1日目 10月4日(土)

初期キャリア研究者研究交流会（研究支援委員会）

良心館 1階 RY104

9:30～11:30

開会式・学会賞授賞式

寒梅館 ハーディホール／オンデマンド 12:30～13:30

学会長挨拶

大会長挨拶

学会賞授賞式

基調講演・大会校企画シンポジウム 寒梅館 ハーディホール／オンデマンド 13:45～17:30

現代社会福祉学の思想的基盤——理論と実践の根源を問う——

【基調講演】

倫理的・法的・社会的問題(ELSI)としての強制不妊—日本の優生保護法史の検討

講演者

松原 洋子 氏 （立命館大学大学院先端総合学術研究科 特任教授）

【大会校企画シンポジウム】

現代社会福祉学の思想的基盤——理論と実践の根源を問う——

シンポジスト

金子 光一 氏 （東洋大学） 歴史論的視点から

岩崎 晋也 氏 （法政大学） 原理論的視点から

空閑 浩人 氏 （同志社大学） 実践論的視点から

コーディネーター

木原 活信 氏 （同志社大学）

コメンテーター

松原 洋子 氏 （立命館大学）

情報交換会

寒梅館 1F アマーク・ド・パラディ

17:45～19:30

第2日目 10月5日(日)

口頭発表 A

良心館 4階 各室

9:30~11:30

留学生と国際比較研究のためのワークショップ（国際学術交流促進委員会）

良心館 地下1階 RY 地2／オンデマンド(報告1のみ)

9:30~12:00

グローバルな視点からみる日本の社会福祉学

——海外の社会福祉教育・研究事情と留学生から教員への歩みを考える——

【Ⅰ部:基調講演】

「北欧の視点から見た社会福祉教育と研究:グローバルな未来への洞察」

Nordic Perspectives on Social Welfare Education and Research:
Insights for a Global

講演者

ミレナ・バスクニャン・スカルプ Milena Bascunan Skaarup 氏

(北欧ソーシャルワーク教育学会理事・前会長、ユニバーシティー・カレッジ・コペンハーゲン)

通訳・翻訳

松尾 敬子 氏 (神戸大学国際交流コーディネーター/元国連職員)

【Ⅱ部:シンポジウム企画】

社会福祉に関する教育・研究事情 ——留学生支援に向けた課題を含めて——

報告① ヴィラーク・ヴィクトル 氏

(日本社会事業大学・准教授、国際学術交流促進委員会・委員)

報告② 楊 慧敏 氏 (県立広島大学・助教、国際学術交流促進委員会・委員)

報告③ 姜 民護 氏 (関西大学・准教授、国際学術交流促進委員会・委員)

コーディネーター

藪長 千乃 氏 (東洋大学、国際学術交流促進委員会・委員)

司会

藪長 千乃 氏 (東洋大学、国際学術交流促進委員会・委員)

銭本 隆行 氏 (国際医療福祉大学、国際学術交流促進委員会・委員)

コメンテーター

伊奈川 秀和 氏 (国際医療福祉大学、国際学術交流促進委員会・委員)

ポスター発表

良心館 1階 南北廊下

11:45~12:25

特定課題セッションⅡ

良心館 1階 RY103

12:30~15:00

包括的な支援体制の整備の推進とソーシャルワークにおける実践評価

コーディネーター

大多賀 政昭 氏（国立保健医療科学院）

特定課題セッションⅢ

良心館 1階 RY107

12:30~15:00

災害時におけるソーシャルワークのあり方

コーディネーター

笹岡 眞弓 氏（日本医療大学）

口頭発表 B

良心館 4 階 各室

12:30~14:30

学会企画セッション

良心館 地下1階 RY 地2／オンデマンド

14:30~16:30

社会福祉学におけるアクションリサーチの手法

シンポジスト

アクションリサーチを通して築く地域多文化共生社会

佐々木 綾子 氏（千葉大学大学院国際学術研究院）

子どもの意見表明を支援するアドボカシーセンター創出のためのアクションリサーチ

堀 正嗣 氏（熊本学園大学社会福祉学部）

貧困理解における参加型貧困調査の有用性

陳 勝 氏（尚絅大学短期大学部）

コーディネーター

山田 壮志郎 氏（日本福祉大学、日本社会福祉学会研究担当理事）

口頭発表・特定課題セッション

口頭発表 A

10月5日(日) 9:30~11:30

理論・思想① <RY401> 座長: 伊藤 新一郎(北星学園大学)

- A01-01 トロント「ケアリングデモクラシー」の理論と 大石「ケアリングコミュニティ」の理論の接合の試み
社会福祉のより精緻なメタ理論構築に向けて
○大石 剛史(東北福祉大学)
- A01-02 歴史的トラウマ論の射程と日本におけるソーシャルワークの再構築
脱植民地主義的視座からの試論
○宮崎 理(明治学院大学)
- A01-03 日本近代社会福祉の次に設定される未来
「社会福祉」から「地域共生社会」への移行
○樋口 淳一郎(岡山大学大学院社会文化科学研究科)
- A01-04 統治のエージェンシーから解放のエージェンシーへ？
ポピュラー・ソーシャルワーク(PopSW)の認識論的枠組み(その①)
○伊藤 文人(日本福祉大学)

歴史② <RY409> 座長: 畠中 耕(福井県立大学)

- A02-01 グローバルヒストリーの視点から捉えた社会福祉の歴史研究
Dr.Barnardo's Homes と岡山孤児院における実践の到達点に着目して
○高松 誠(佐久大学)
- A02-02 山高しげりの参議院議員としての活動
○今井 涼(大阪成蹊大学)
- A02-03 福田会育児院と何礼之
寄付行為の分析を中心に
○小笠原 強(専修大学兼任講師)

歴史④ <RY413> 座長: 小笠原 慶彰(関西福祉科学大学)

- A03-01 慈善施設の養護実践
福田会育児院にみる里子養育と施設養育
○菅田 理一(鳥取短期大学)
- A03-02 福田会育児院創設から恵愛部設立以前に福田会に寄せられた寄附について
『明教新誌』掲載の寄付関係記事から
○宇都 栄子(専修大学名誉教授)
- A03-03 LARA協働団体にみる海外救援活動への関与と主体性
YMCA文書をもとに
○西田 恵子(立教大学)

制度・政策② <RY414> 座長：西村 淳（立正大学）

- A04-01** 職能団体による自職種の認知度と専門性に関する認識について
保健医療福祉6職種の都道府県の団体に対するアンケート調査から
○木村 多佳子(福井県立大学看護福祉学部), 吉村 臨兵(愛知学院大学)
- A04-02** 介護現場でのICT導入におけるノーコードツール運用モデル
人材確保につながる業務効率化へのアプローチ
○中村 英三(公立大学法人 長野大学)
- A04-03** 第三者後見人等の活動時の倫理的基盤の遠近構造
社会福祉士、弁護士、司法書士、市民後見人に対する量的調査より
○笠原 幸子(四天王寺大学), 野前 宜史(社会福祉法人堺あすなろ会),
西尾 祐佳(四天王寺大学)
- A04-04** 日本社会における社会福祉士の政治参加に関する研究
現状と影響要因を巡って
○章 琦(東京科学大学環境・社会理工学院)

方法・技術① <RY415> 座長：中村 佐織（京都府立大学名誉教授）

- A05-01** 生活保護のケースワークの役割に関する近年の先行文献の研究
○大里 祥(大阪公立大学大学院都市経営研究科博士後期課程)
- A05-02** 大学生の健康リスク要因としての社会的孤立
孤立基準の検討
○李 青雅(東京福祉大学)
- A05-03** ソーシャルワーク教育におけるフォトボイスを用いた省察的学習の試み
学生への事後質問紙調査票の結果を中心に
○大山 博幸(十文字学園女子大学)
- A05-04** ひきこもり状態にある人が本人の望む方向へ変化した支援
きっかけ、大切にしている点、課題の質的分析
○福島 喜代子(ルーテル学院大学), 大曲 睦恵(帝京科学大学)

方法・技術③ <RY416> 座長：添田 正揮（日本福祉大学）

- A06-01** ワーカーの「自己覚知」がもたらす当事者性的側面の不足感とその活用
クライアントに対する「共感的理解」から「客観的理解」への捉えなおし
○大津 雅之(山梨県立大学人間福祉学部)
- A06-02** ソーシャルワーカーのパーソナリティ理解における臨床心理学の臨床知の必要性
少年院を退院した少年たちに対する社会福祉士の支援事例に対する心理臨床家の
スーパービジョンの効用
○多賀 努(東京都健康長寿医療センター研究所)
- A06-03** 事例検討会におけるスーパーバイザーの実践行為とその構成要素
主任介護支援専門員に対する量的調査から
○小松尾 京子(鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科)

方法・技術⑤ <RY417> 座長：鶴浦 直子（大阪公立大学）

- A07-01** 自衛隊員が直面するMoral InjuryとMilitary Cultureの関係性に関する一考察
Military Social Workの先行研究より
○田中 顕悟(高知県立大学社会福祉学部社会福祉学科)

- A07-02** トロントにおける反抑圧ソーシャルワーク
ソーシャルワーカーへのインタビュー調査
○大谷 京子(日本福祉大学)
- A07-03** 批判的実在論に基づくソーシャルワーク実践評価
実在論的評価の応用(CIMO分析)とローカルなソーシャルワーク実践モデル
○丸山 正三(日本医療大学)

児童福祉② <RY418> 座長: 谷口 由希子 (名古屋市立大学)

- A08-01** 子どもアドボケイトの役割/機能およびジレンマについて
子どもアドボカシーセンターでのインタビュー調査に依拠して
○小川 茜(同志社大学)
- A08-02** 今日スクールソーシャルワーカーに問われている機能に関する研究
児童の成長を視野に入れたスクールソーシャルワーク機能のあり方
○洪 承載(和洋女子大学家政学部家政福祉学科)
- A08-03** 国連「子どもの代替養育に関する指針」に基づく里親ソーシャルワークとは？
英国スコットランドのフォスタリング機関調査からの考察
○伊藤 嘉余子(大阪公立大学), 野口 啓示(福山市立大学教育学部),
李 瀟瑩(大阪公立大学大学院)
- A08-04** ケアの質評価に関する児童養護施設職員の認識について
施設職員へのインタビュー調査から
○木内 さくら(大阪公立大学), 梅谷 聡子(花園大学)

児童福祉④ <RY420> 座長: 榎本 祐子 (びわこ学院大学短期大学部)

- A09-01** 不登校支援におけるスクールソーシャルワーカーのメゾアプローチの効果
校内支援体制の整備と地域資源との連携支援に焦点を当てて
○榎本 久美子(大阪公立大学現代システム科学研究科), 駒田 安紀(大阪公立大学),
山野 則子(大阪公立大学)
- A09-02** 小学校の長期休業中におけるこどもの居場所に関する調査研究
○植木 信一(新潟県立大学), 有村 大士(日本社会事業大学),
友川 礼(松山東雲女子大学)
- A09-03** スウェーデンにおける「家族支援型」の子ども家庭ソーシャルワーク
ソーシャルワーカーによる親と子どもへのアプローチの実際
○吉岡 洋子(関西大学)
- A09-04** 内密出産制度に関する人権的考察
韓国・フランス・ドイツの比較を中心に
○趙 素娟(崇實大学校社会福祉大学院), 盧 惠璉(崇實大学校 / 同志社大学)

障害(児)者福祉(精神障害含む)① <RY421> 座長: 古井 克憲 (和歌山大学)

- A10-01** 精神医療ユーザーの支援における クライシス・プランの作成方法と活用方法の関連の
検討
○狩野 俊介(東北福祉大学), 野村 照幸(新潟医療福祉大学)

A10-02 津久井やまゆり園障害者殺傷事件における被害状況の実態調査研究
事件が社会に与えた影響の分析

○sasaki, takashi(東京福祉大学大学院),
midorikawa, hiroko(郡山健康科学専門学校),
satou, atusi(郡山健康科学専門学校),
katagawa, hiroe(青森県平内小学校教諭)

A10-03 精神科病院の長期入院患者に対する退院支援の現状と課題
地域移行支援に着目して

○中沼 亮太(福岡県立大学大学院)

A10-04 知的障害者を対象とした「わかりやすい版」における規範性
厚生労働分野に着目して

○門下 祐子(京都教育大学 総合教育臨床センター),
羽山 慎亮(一般社団法人スローコミュニケーション)

障害(児)者福祉(精神障害含む)③ <RY422> 座長: 沖倉 智美 (大正大学)

A11-01 障害者制度改革の当事者参画への知的障害者の参画
なぜ、知的障害者の政策提言は実現されなかったのか

○有松 玲(立命館大学生存学研究所)

A11-02 重度知的障害者支援における利用者理解の構造とプロセスについて
障害者支援施設の生活支援員を対象に

○野前 宜史(社会福祉法人堺あすなろ会)

A11-03 グループホームでの生活継続を希望する高齢知的障害者への支援に関する研究
グループホーム職員へのインタビュー調査から

○牧田 英弓(社会福祉法人 かすみが丘学園), 藤野 真凜(福井県立大学)

A11-04 聴覚障害ソーシャルワークの災害対応における諸課題
令和6年能登半島地震における支援活動の事例より

○二神 麗子(日本社会事業大学), 金澤 貴之(群馬大学), 北川 進(日本社会事業大学)

障害(児)者福祉(精神障害含む)⑤ <RY423> 座長: 植戸 貴子 (神戸女子大学)

A12-01 眼球使用困難症候群を有する成人の抱える成果樂のしづらさなどに関する予備的検討

○松永 千恵子(群馬医療福祉大学大学院), 市川 和男(人間総合科学大学),
益子 徹(東京都立大学), 大野 美千代(秀明大学),
加藤 純一(新宿区民生委員・児童委員), 濱邊 富美子(国際医療福祉大学大学院)

A12-02 知的障害者の意思決定支援における多層的関係性構造の実証的研究
本人, 親, 支援者によるグループインタビューのエピソード記述から

○小林 麻衣子(日本福祉大学大学院)

A12-03 「親ばなれ子ばなれ」に着目した知的障害のある子の「親なき後」支援の質的分析
エピソード記述法による関係性再構成の探究

○松本 和剛(日本福祉大学大学院福祉社会開発研究科)

高齢者保健福祉① <RY424> 座長: 齊藤 雅茂 (日本福祉大学)

A13-01 介護職員の仕事ストレインに関連する特徴量を用いた 心理的苦痛に関する
ランダムフォレスト予測モデルの検討

○張 英恩(地域ケア経営マネジメント研究所),
出井 涼介(地域ケア経営マネジメント研究所),
中嶋 和夫(地域ケア経営マネジメント研究所)

A13-02 RI-CLPMによる在宅高齢者の認知機能、活動、抑うつの時間的先行性の検討

○出井 涼介(地域ケア経営マネジメント研究所),
張 英恩(地域ケア経営マネジメント研究所),
中嶋 和夫(地域ケア経営マネジメント研究所)

**A13-03 事例集に見る介護過程実践の実態と効果について
テキストマイニングによる考察**

○杉田 貴行(まるもとケアプランセンター)

**A13-04 無医村であるへき地在住高齢者における健康行動変容を妨げる要因
インタビュー調査分析を通して**

○米澤 大輔(新潟大学)

高齢者保健福祉③ <RY425> 座長: 神部 智司(花園大学)

**A14-01 社会福祉専門職の業務を代行する「独居高齢者の見守りロボット」に関する研究
防災機能・健康管理機能(介護予防機能)付き小型ロボットの開発**

○川島 典子(福知山公立大学)

A14-02 日本における介護支援専門員を取り巻く課題の構造分析

○山田 修(長野大学大学院)

**A14-03 デイホスピスにおけるソーシャルワークに関する一考察
療養通所介護の臨床から**

○松久 宗丙(医療法人社団 崇仁会 船戸クリニック 療養通所介護 天音の里)

A14-04 在宅要介護高齢者の家族介護者における意思尊厳尺度の構成概念に関する検討

○金 貞任(東京福祉大学大学院), 杉原 陽子(東京都立大学)

高齢者保健福祉⑤ <RY426> 座長: 増田 和高(武庫川女子大学)

**A15-01 要介護者本人の選択に基づくサービス利用はなぜ困難なのか
有料老人ホーム入所支援担当者へのインタビュー調査に基づく考察**

○片山 祥子(熊本学園大学大学院)

**A15-02 在宅サービス事業所における職場環境と専門職の力量
在宅サービス事業所への調査から**

○原田 奈津子(済生会保健・医療・福祉総合研究所)

A15-03 新人介護職員のストレス体験を成長に結びつける支援の構造に関する質的研究

○SON, heesook(熊本学園大学)

**A15-04 経済連携協定(EPA)に基づいて受け入れられたケアワーカーの
ライフコースに関する研究**

受け入れ拡大の中でのライフコースの多様化に着目して

○チェリー アンジェラー未来(日本福祉大学 福祉社会開発研究所)

地域福祉① <RY402> 座長: 石川 久仁子(大阪人間科学大学)

**A16-01 判断能力が不十分な人の金銭管理におけるキャッシュレス活用の課題
支援者へのインタビュー調査からの検討**

○前田 佳宏(筑紫女学園大学)

A16-02 生活支援コーディネーターが行う地域支援の構造とプロセス

○西尾 祐佳(四天王寺大学大学院 博士前期課程), 笠原 幸子(四天王寺大学大学院),
野前 宜史(社会福祉法人堺あすなろ会)

- A16-03** 地域福祉センターの存在意義をめぐる住民主体形成に関する一考察
G県T市K地区の全戸調査の結果を踏まえて
○Tamura, Sadaaki(中部学院大学大学院 人間福祉学研究科 人間福祉学専攻
博士課程1年), Miyajima, Jun(中部学院大学)
- A16-04** 重層的支援体制整備事業で「政策化」された地域福祉の特徴とは
支援会議の目的の比較から見える「地域福祉の政策化」の影響
○中野 航綺(日本大学)

地域福祉③ <RY403> 座長: 山本 美香(東洋大学)

- A17-01** コミュニティ・エンパワメントにおいて住民組織と関わる保健医療専門職の
実践に関する文献研究
社会福祉協議会職員の実践との関連
○平中 千亮(県立広島大学大学院), 細羽 竜也(県立広島大学),
越智 あゆみ(県立広島大学三原キャンパス保健福祉学部)
- A17-02** 重層的支援体制下の農福連携実践事例からみる推進課題
○畠山 明子(星槎道都大学 社会福祉学部)
- A17-03** 地域住民が地域福祉アンテナショップを自分の居場所にするプロセス
○高橋 美季(社会福祉法人 立川市社会福祉協議会)

国際社会福祉① <RY404> 座長: 朝倉 美江(金城学院大学)

- A18-01** 中国上海市高齢者福祉施設の運営におけるソーシャルワーカーの実践機能と課題
○孫 心悦(東洋大学福祉社会デザイン学部)
- A18-02** 中国における社区「医養結合」の断片化の実態
上海市の事例に基づく分析
○張 芝菱(同志社大学)
- A18-03** 中国における非公認教会(家庭教会)の福祉的取組と専門職信徒に関する調査
○Ra, Ketsuhu(同志社大学院社会学研究科)

国際社会福祉③ <RY405> 座長: 阪口 春彦(龍谷大学)

- A19-01** 中国における「コミュニティを基盤としたソーシャルワーク・サービス」(社区社会工作服务)
に関する研究
ソーシャル・キャピタルの形成ルートに焦点をあてて
○陳 凌雲(同志社大学大学院)
- A19-02** アメリカにおけるDirect Care Workerの社会的地位と職業的評価に関する研究
州ごとの先進事例を手がかりに
○任 セア(立教大学)
- A19-03** 中国における枢纽型社会組織のボランティア支援機能
広州市を事例として
○遅 力榕(龍谷大学)

保健医療・医療福祉 <RY406> 座長：大野 まどか（大阪人間科学大学）

- A20-01** 福岡県の後期高齢者医療における総医療費に影響を与える要因
国保データベース(KDB)を用いた分析
○河野 高志(福岡県立大学人間社会学部), 畑 香理(福岡県立大学),
本郷 秀和(福岡県立大学)
- A20-02** 医療ソーシャルワーク実践における批判的省察の導入の可能性
66の事例報告文書の分析より
○本田 優子(大阪公立大学), 児島 亜紀子(大阪公立大学)
- A20-03** 当事者と非当事者による対話的協働研究の方法論
三者対話式インタビューの可能性
○林 幹泰(NHK学園), 岡 知史(上智大学総合人間科学部)
- A20-04** 医療ソーシャルワーカーの研究活動の現状とその促進要因
○鍋内 哲朗(西九州大学大学院生活支援科学研究科健康福祉学専攻(博士前期課程)),
黒田 研二(西九州大学大学院生活支援科学研究科健康福祉学専攻)

社会福祉教育・実習 <RY407> 座長：福富 昌城（花園大学）

- A21-01** 子ども家庭福祉のNIE授業実践の経年変化比較
『NIE子ども家庭福祉演習』を中心に
○松井 圭三(中国短期大学総合生活学科), 藤田 了(大阪国際大学),
今井 慶宗(関西女子短期大学)
- A21-02** ロールプレイと描画を用いた「コミュニケーション体験的理解促進プログラム」の試行と
検討
高校福祉科におけるプログラム実施後アンケートの自由記述の質的分析
○佐野 真紀(愛知教育大学)
- A21-03** ソーシャルワーク実践につながるアイスブレイクの質問とは何か
対話的な場づくりに寄与するアイスブレイクの考案を目指して
○館澤 謙蔵(立命館大学先端総合学術研究科一貫性博士課程)

震災・災害福祉② <RY408> 座長：後藤 至功（佛教大学）

- A22-01** 福島県のソーシャルワーカーによるナラティブ
被災者であり支援者である重層的葛藤
○中尾 賀要子(武庫川女子大学／教育総合研究所)
- A22-02** COVID-19パンデミック下の支援を手がかりに
災害時の福祉支援を見つめ直す
○平井 亜里砂(関西学院大学人間福祉学部)
- A22-03** 災害に関する社会福祉研究の進展と今後の展望
日本学術会議社会福祉学分会「提言」のフォローアップを含めて
○田口 康(長野大学大学院総合福祉学研究科社会福祉学専攻)

理論・思想② <RY401> 座長: 直島 克樹(川崎医療福祉大学)

- B01-01** アボリショニズムはソーシャルワークの何を問題化するか
反レイシズムと歴史的・構造的不正義の視点から
○佐伯 賢(明治学院大学大学院 社会学研究科 社会福祉学専攻 博士前期課程)
- B01-02** 例外状況下沖縄における福祉実践が問い直すもの
ポピュラー・ソーシャルワーク(PopSW)の認識論的枠組み その②
○増渕 あさ子(立命館大学産業社会学部)
- B01-03** 昭和初期における久保保久の障害児保護思想の展開
山下清の支援実践に見る理念構造
○澤田 佳代(日本福祉大学福祉経営学部(通信教育))

歴史① <RY408> 座長: 加美 嘉史(佛教大学)

- B02-01** 邑久光明園への就職以前における森幹郎の闘病生活とキリスト教無教会派信仰
○中嶋 洋(中京大学)
- B02-02** 占領期における民生委員の役割の変化
埼玉事件に着目して
○Aoki, Naoto(高崎健康福祉大学)
- B02-03** 内陸部産炭地の苦悩
福岡県山田市の生活困窮者救済をめぐる
○平 将志(九州産業大学)
- B02-04** 児童厚生施設の任意利用を通して子どもの主体性を育む
第二次世界大戦前の東京における「学童クラブ」実践を手掛かりとして
○田澤 薫(聖学院大学)

歴史③ <RY409> 座長: 西崎 緑(熊本学園大学)

- B03-01** 障害者の権利条約に至る沿革
一般原則からの整理および子どもの権利条約との比較
○松本 優作(川崎医療福祉大学), 種村 暁也(川崎医療福祉大学),
岡正 寛子(川崎医療福祉大学), 中川 智之(川崎医療福祉大学),
森本 寛訓(川崎医療福祉大学), 橋本 勇人(くらしき作陽大学)
- B03-02** 優生保護法における民生委員の活動
『優生保護法関係資料集成』の検討
○末田 邦子(愛知淑徳大学福祉貢献学部)
- B03-03** 戦時下の社会政策・社会事業研究者らによる論考からの探索
「人的資源」に焦点をあてて
○山本 浩史(新見公立大学)

制度・政策① <RY413> 座長: 安田 誠人(花園大学)

- B04-01** がん疾患をもつ当事者の就労継続をめぐる経験
合理的配慮の分析視点に依拠して
○楠 寿子(京都市立病院 がん相談支援センター/同志社大学 社会学研究科
社会福祉学専攻)

- B04-02** 市民後見人と制度運用上の位置づけの不平等
意思決定支援の現場から制度改善への提案を探る
○永野 叙子(東京都健康長寿医療センター研究所),
津田 修治(東京都健康長寿医療センター研究所)
- B04-03** 戦後日本の療育事業整備における民間事業の公立公営事業化プロセス分析
東京都東久留米市「わかさ学園」を事例に
○田中 謙(日本大学)
- B04-04** デジタル化社会は“孤独感”・“社会的孤立”を解消するか
Society5.0を目指した次世代社会福祉国家はいかにあるべきか
○神徳 和子(福岡大学医学部看護学科), 宮崎 康支(関西学院大学 客員研究員)

制度・政策③ <RY414> 座長: 田中 弘美(大阪公立大学)

- B05-01** 福祉職の就労継続要因に関する研究
キャリアパス構築と資質向上に取り組む法人の実践に着目して
○子安 由美子(日本福祉大学)
- B05-02** 人口減少局面における社会福祉法人経営に関する一考察
財務諸表等電子開示システム 2023年度決算データより
○早坂 聡久(東洋大学)
- B05-03** 韓国における少子化と児童所得の保障
政策対応の方式とその含意
○鄭 贊美(社会保障委員会), 姜 民護(関西大学)

方法・技術② <RY415> 座長: 岡田 まり(立命館大学)

- B06-01** 被虐待経験にまつわる語りにおける支配的表象の内在化について
特にオートエスノグラフィーという手法の独自性の観点から
○大門 彩香(日本女子大学大学院人間社会研究科社会福祉学専攻博士課程後期)
- B06-02** インクルーシブ生産システムの連なりにおける調達の影響
障がい特性優位のモノの流れ
○青柳 修平(TRINITY SOLUTION), 大津 雅之(山梨県立大学人間福祉学部),
青柳 暁子(山梨県立大学), 田中 謙(日本大学)
- B06-03** コミュニティソーシャルワーカーの援助における関係継続の構造
「終結なんて考えたこともない」援助者へのインタビュー調査の分析
○上西 一貴(佐久大学)
- B06-04** ICD-11難病, 精神障害情報と生活機能との結びつきに関する研究
「令和4年全国在宅障害児・者等実態調査」を例に
○高橋 秀人(帝京平成大学), 大野賀 政昭(国立保健医療科学院),
重田 史絵(立教大学)

方法・技術④ <RY416> 座長: 高井 由起子(関西学院大学)

- B07-01** 弱さを表現出来る場から始まる相互エンパワーメント
ポピュラー・ソーシャルワーク(PopSW)の実践的枠組み(2)
○竹端 寛(兵庫県立大学)
- B07-02** 介護予防デイサービス事業所によるアウトリーチ実践の意義
職員へのインタビュー調査から
○山本 大輔(高知県立大学)

- B07-03** 日本における草の根の市民運動とソーシャルワークの接点
ポピュラー・ソーシャルワーク(PopSW)の実践的枠組み(1)
○中野 加奈子(大谷大学)

児童福祉① <RY417> 座長: 野口 啓示(福山市立大学)

- B08-01** 児童養護施設における働き続けることができる職場環境の諸要因
ケア肯定感に関するアンケート調査を通して
○座安 晃生(日本社会事業大学大学院 西台こども館)
- B08-02** 母子生活支援施設における情報発信のあり方に関する一考察
Instagramを活用している施設に着目して
○武藤 敦士(東北学院大学)
- B08-03** 母子生活支援施設における子どもの権利擁護
母子生活支援施設職員のインタビュー調査から
○浅田 明日香(山梨県立大学)
- B08-04** 児童福祉の思想的基盤としての児童学
児童福祉の根底にあるものを幾度となく問い続けて
○小田桐 忍(社会福祉法人一乗会)

児童福祉③ <RY418> 座長: 新川 泰弘(関西福祉科学大学)

- B09-01** 児童養護施設におけるケアの質の構成概念に関する考察
施設職員のインタビュー調査から
○梅谷 聡子(花園大学), 木内 さくら(大阪公立大学)
- B09-02** 「親ガチャ」言説と若者の生きづらさ
テキストマイニングによる当事者の声の可視化
○安 然(駒澤大学大学院人文科学研究科社会学専攻),
荒井 浩道(駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻)
- B09-03** 子育て支援者の規範的論理(2)
子育ての社会化と親役割規範の二重化共存プロセス
○一瀬 早百合(和光大学現代人間学部), 長岡 千賀(追手門学院大学)
- B09-04** 児童養護施設における発達障害の特性がある児童の支援に関する現状の検討
施設職員へのインタビュー調査から
○小田島 朋(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

家族福祉 <RY420> 座長: 鶴野 隆浩(名古屋芸術大学)

- B10-01** 発達障害児の父親役割
父親の障害のある子どもとの関係性構築
○練田 修司(佛教大学)
- B10-02** 要介護期のろう者が経験すること
介護経験のあるコーダの語りからの考察
○池田 倫子(佛教大学 社会福祉学研究科 博士後期課程)
- B10-03** 障害者の親の会における「親なき後」に関する意見
日本と韓国の親の会のヒヤリング調査を通じて
○田中 智子(佛教大学), 孔 栄鍾(佛教大学), 藤原 里佐(北星学園大学短期大学部)

- B10-04 「親なき後」をめぐる言説
知的障害者家族の普遍的・多面的不安**
○藤原 里佐(北星学園大学短期大学部)

障害(児)者福祉(精神障害含む)② <RY421> 座長: 栄 セツコ (桃山学院大学)

- B11-01 知的障害者の自立移行と規定要因,及び自立の効果**
○小林 淑恵(静岡文化芸術大学)
- B11-02 児童発達支援センターの中核機能に関する一考察
A市における児童発達支援センターのヒアリング調査から**
○中澤 若菜(神奈川リハビリテーション病院), 小澤 温(長野大学),
望月 太敦(杉並区立重症心身障害児通所施設わかば),
小河 周平(株式会社リニエR), 永野 叙子(東京都健康長寿医療センター研究所)
- B11-03 リハビリ・カレッジにおける共同創造にはどのような価値が見出されるか
精神的困難のある当事者の視点から**
○黒田 文(東北福祉大学 総合福祉学部)
- B11-04 精神障害者の親なき後に関する生活課題の現状
多様化する生活課題に向き合って**
○矢島 雅子(京都ノートルダム女子大学)

障害(児)者福祉(精神障害含む)④ <RY422> 座長: 直島 正樹 (相愛大学)

- B12-01 新たな社会参加スケールの信頼性の検証
日本語版CIQ-Rの開発に向けて**
○増田 公香(九州看護福祉大学), 岡田 栄作(法政大学)
- B12-02 農福連携の発展につながる放課後等デイサービス
農福連携に取り組む就労継続支援B型事業所の放課後等デイサービス併設の事例より**
○細川 富美子(広島大学大学院)
- B12-03 聴覚障害者の災害対応の制度的課題
地域福祉モデルの限界と遠隔手話通訳による支援体制の再構築**
○金澤 貴之(群馬大学), 二神 麗子(日本社会事業大学)
- B12-04 知的障害者の居住の場に対する親の意識
自立と親なき後を支える基盤の整備に向けて**
○鍛冶 智子(金城学院大学)

障害(児)者福祉(精神障害含む)⑥ <RY423> 座長: 清水 由香 (武庫川女子大学)

- B13-01 障害者手帳保有者の地域分布
市町村障害福祉計画等による市区町村単位の分析**
○榊原 賢二郎(国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部)
- B13-02 「成人移行期の重度障害者と暮らす母親がケアと働き方を調整していくプロセス」
母親へのインタビュー調査より**
○春木 裕美(関西国際大学)
- B13-03 手話通訳サービスに対する韓国と日本の手話通訳士の認識比較**
○廉 東文(昌信大学), 朴 柱炫(NPO暮らしづくりネットワーク北芝),
柳 晶恩(大邱大学), 津山 明子(大阪府・箕面市登録手話通訳者)

高齢者保健福祉② <RY424> 座長：山口 麻衣（ルーテル学院大学）

- B14-01** ポイント制の社会参加促進プログラムはどのような高齢者に届いているのか
6時点の参加・非参加データに基づくエクスポージャーワイド分析より
○福定 正城(日本福祉大学健康社会研究センター),
齊藤 雅茂(日本福祉大学社会福祉学部／日本福祉大学健康社会研究センター)
- B14-02** 利用者の疾患の違いが介護支援専門員のアドバンス・ケア・プランニングの実践に
及ぼす影響
○牧原 拓矢(社会福祉法人優輝福祉会), 越智 あゆみ(県立広島大学),
細羽 竜也(県立広島大学)
- B14-03** 特別養護老人ホームにおける移動移乗支援と福祉用具活用の定着課題
利用者主体のケア文化構築に向けた導入・研修体制の検討
○田上 優佳(東北福祉大学総合福祉学研究科博士課程)
- B14-04** 日本の孤独・孤立対策のあり方 ―イギリスの取り組みから得られた示唆―
○国 儒(同志社大学)

高齢者保健福祉④ <RY425> 座長：市瀬 晶子（関西学院大学）

- B15-01** 介護職員の勤務継続意向と離職意向に関する組織要因の分析
雇用管理と研修制度の相関に着目して
○崔 允姫(東京福祉大学)
- B15-02** 「境界関係」のケア実践
デンマーク・リエイブルメント支援における裁量と協働
○石黒 暢(大阪大学)
- B15-03** 職場教育における介護職員の育成の現状と課題
介護人材の多様化を背景に
○李 姍姍(同志社大学大学院博士後期課程)
- B15-04** (取り下げ)

女性福祉・ジェンダー <RY426> 座長：吉中 季子（神奈川県立保健福祉大学）

- B16-01** 「困難女性支援法」・「AV出演被害防止・救済法」同時期成立の人権論的意味
「女性の人権・男女平等」・「性をめぐる個人の尊厳」という根本的価値の関係性
○片居木 英人(十文字学園女子大学人間生活学部)
- B16-02** 女性の貧困と生活保護制度の運用の問題点
ジェンダー視点によるセーフティーネットの再構築
○王 静(龍谷大学)
- B16-03** 幼稚園を利用している家族の生活と「二次的依存」
○保田 真希(北翔大学短期大学部)
- B16-04** 母子領域支援者のTIC(トラウマインフォームドケア)研修の効果
○大岡 由佳(武庫川女子大学)

地域福祉② <RY402> 座長: 小野 達也 (桃山学院大学)

- B17-01** 農業体験活動による新たな農福連携の展開に関する研究
ユニバーサル農園による新たな地域コミュニティづくりの可能性
○久保田 佐和子(日本社会事業大学), 吉田 行郷(千葉大学)
- B17-02** プロスポーツ会場における共同募金活動を通じた大学生の主体形成と寄付文化の醸成
○Atsushi Yokochi(相模女子大学)
- B17-03** 地方自治体による意思決定支援実践の評価に関する研究
A県B市での取り組みに着目して
○森地 徹(筑波大学), 新藤 健太(日本社会事業大学),
大口 達也(前埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校), 名川 勝(筑波大学)

地域福祉④ <RY403> 座長: 橋川 健祐 (金城学院大学)

- B18-01** 地域包括ケアシステムにおける高齢者支援事業のアウトカム評価指標の試案
ロジックモデルを用いた指標設定とパイロット調査の実施事例
○熊谷 大輔(昭和女子大学), 李 恩心(昭和女子大学)
- B18-02** ソーシャルワーク実践としての生活福祉資金貸付制度の実施に向けた考察
社会福祉協議会によるコロナ特例貸付のフォローアップ支援に焦点をあてて
○山東 愛美(大阪公立大学), 前田 佳宏(筑紫女学園大学), 鶴浦 直子(大阪公立大学)
- B18-03** A町における地域包括支援に関する実証研究(第2 報)
民生・児童委員へのアンケート調査の自由記述の質的分析
○中村 正人(長野大学大学院), 木村 かほり(長野大学大学院),
瀬谷 薫(長野大学大学院), 山岸 周作(長野大学大学院),
三村 仁志(長野大学大学院), 竹中 正文(長野大学大学院),
高橋 保行(長野大学大学院), 高梨 のぞみ(長野大学大学院),
勝見 雅美(長野大学大学院), 中村 英三(長野大学大学院),
太田 貞司(前長野大学大学院), 片山 優美子(長野大学大学院)

国際社会福祉② <RY404> 座長: 銭本 隆行 (国際医療福祉大学)

- B19-01** 中国のソーシャルワーク実践におけるクライアントの主体性への支援の検討
ソーシャルワーカーに対するビネットを用いたインタビュー調査を通して
○黄 慧娟(同志社大学大学院社会学研究科博士後期課程)
- B19-02** 実習がソーシャルワーカーの支援の質に与える影響
中国のX高齢者福祉施設におけるインタビュー調査から
○張 白璐(龍谷大学 社会学研究科社会福祉学専攻)
- B19-03** 市場化された福祉における高齢者施設の移民包摂機能と課題
カナダの移民向け特化型施設の介護実践から
○二木 泉(University of Toronto, Department of Sociology)

貧困・低所得者福祉 <RY405> 座長: 垣田 裕介 (大阪公立大学)

- B20-01** 制度的包摂は「声」を保障するか
自治体の部署間連結データに基づく行政調査への排除の構造
○西岡 大輔(京都大学大学院医学研究科社会的インパクト評価学講座)

- B20-02** 特例貸付利用者調査からみる利用者の生活実態とフォローアップ支援を通じた変化
滋賀県における「特例貸付利用者の暮らしに関する調査」の2年後追跡調査より
○谷口 郁美((社福)滋賀県社会福祉協議会), 齊藤 雅茂(日本福祉大学社会福祉学部),
福定 正城(日本福祉大学)
- B20-03** 若者への一時的な現金給付に関する一考察
団体Xでの現金給付事業利用者へのインタビューから
○岡部 茜(大谷大学)
- B20-04** 生活保護の利用と家計管理の経験
有子世帯の親による語りを中心に
○野田 博也(愛知県立大学)

司法福祉 <RY406> 座長: 金子 毅司(新潟医療福祉大学)

- B21-01** 市町村における犯罪をした人等への支援実態と課題
重層的支援体制整備事業の支援状況に関するアンケート調査から
○篠崎 ひかる(東京都立大学)
- B21-02** 長崎刑務所における知的障害受刑者処遇モデル事業の効果検証
体感協調プログラムのピア効果に着目して
○湯原 悦子(日本福祉大学社会福祉学部)
- B21-03** 児童自立支援施設における自立支援とはなにか
施設入所経験者のライフストーリーを手がかりに
○石田 龍太(関西学院大学人間福祉学部)

震災・災害福祉① <RY407> 座長: 吉田 祐一郎(四天王寺大学)

- B22-01** 地域喪失を越えて生きる
ダム建設と集団移転を経験した住民の語りにみる回復のプロセス
○安藤 幸(関西学院大学)
- B22-02** 中学生向け防災ゼミナールの教育効果に関する評価
参加者の意識変容を中心に
○謝 雪こう(関西福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科)
- B22-03** 運動教室と防災教室の併催がもたらす高齢者の防災意識の向上
○萩原 昭広(大阪人間科学大学)
- B22-04** ろうコミュニティにおける災害支援と情報アクセスの構造的格差
言語的公正(language equity)の視点からみるろう・難聴者支援の課題と展望
○高山 亨太(Gallaudet University)

特定課題セッション2 <RY103> コーディネーター: 大冢賀政昭(国立保健医療科学院)

- S2-01 「つながりと重なり」を捉える「相互循環型」評価枠組み
包括的支援体制構築に向けた9象限評価構造の展開可能性
○加藤 昭宏(同朋大学)
- S2-02 重層的支援体制整備事業実施計画から示唆される同事業の評価のあり方
同事業の評価指標の検討の前提として
○黒田 有志弥(国立社会保障・人口問題研究所)
- S2-03 市町村福祉行政における包括的な支援体制の整備に関する評価モデルの構築
指標の因子構造とパス解析による関連性の検証から
○榊原 美樹(明治学院大学), 大口 達也(前埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校),
大冢賀 政昭(国立保健医療科学院), 黒川 文子(愛知淑徳大学),
清水 潤子(武蔵野大学), 川村 岳人(立教大学), 相馬 大祐(長野大学),
永田 祐(同志社大学)
- S2-04 医療的ケア児支援体制整備で必要とされるマクロ・メゾレベルのソーシャルワーク分析
○田中 真衣(白梅学園大学)

特定課題セッション3 <RY107> コーディネーター: 笹岡真弓(日本医療大学)

- S3-01 災害とソーシャルワークの構造的考察
実践の価値的な立ち位置の模索
○大島 隆代(文教大学人間科学部人間科学科)
- S3-02 「広域避難下における民生委員の役割と支援の多層性」
三宅島全島避難時の民生委員へのインタビュー分析を通して
○下尾 直子(洗足こども短期大学)
- S3-03 災害被災者の生活再建におけるソーシャルワーク実践のあり方に関する研究
災害時における被災住民の分類に基づく分析結果から
○平野 裕司(桃山学院大学)
- S3-04 災害支援の全フェーズで発揮されるソーシャルワーク
災害緊急期ソーシャルワークの可能性
○今尾 顕太郎(別府大学)

ポスター発表

- PA-01** 「倫理的責任なき主体化」からの脱却へ
福祉制度における応答関係倫理の再構築
○牛尾 憲治(一般社団法人泉鳳)
- PA-02** 人間福祉の有用性と哲学的考察に関する研究
○玉 弼勲(全州ビジョン大学)
- PA-03** ひきこもり状態の子どもをもつ親がカフェにおいて得られる支えとは
「ひきこもり」カフェのエスノグラフィ
○酒井 真理子(ルーテル学院大学 総合人間学研究科 社会福祉学専攻)
- PA-04** 民間都市開発企業グループによる福祉施設運営の効果と課題
A企業グループの取り組み事例から
○林 和歌子(城西国際大学福祉総合学部)
- PA-05** 障害者雇用制度におけるサブシステムの構築に関する研究
ステイクホルダーのディーセント・ワークの実現を目指して
○小林 武生(周南公立大学), 守本 友美(周南公立大学)
- PA-06** 障害者政策をめぐる社会的対話のしくみ
スウェーデンを事例に
○福地 潮人(中部学院大学人間福祉学部)
- PA-07** 地域子育て支援拠点事業における外国籍保護者への支援について
支援者へのインタビュー調査より
○小川 知晶(川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科),
小田桐 早苗(川崎医療福祉大学医療福祉学部), 小野 順子(福山平成大学),
山本 房子(学校法人中国学園 中国短期大学)
- PA-08** 中高年者における孤立・困窮予防に向けた参加型プログラムの作成
○村山 陽(東京都健康長寿医療センター研究所), 長谷部 雅美(聖学院大学),
小林 江里香(東京都健康長寿医療センター研究所)
- PA-09** 終末期にある透析患者に対する意思決定支援の現状と課題
医療・ケアチームにおける医療ソーシャルワーカーの役割
○宮原 和沙(福岡県立大学), 桃井 克将(京都女子大学)
- PA-10** がん相談支援センターの自発的な利用を支援する体制
がん体験者へのインタビュー調査
○根本 貴子(佐久大学)
- PA-11** 医療ソーシャルワーカーの社会的認知向上の手がかり
○平田 明日香(悠翔会在宅クリニック品川), 岡村 綾子(金城大学)
- PA-12** 医療ソーシャルワーカーの依存症回復支援を阻害する要因に関する検討
アンケート調査を用いた量的分析
○伊達 平和(滋賀大学), 野村 裕美(同志社大学), 稗田 里香(武蔵野大学),
堀 兼大朗(滋賀大学)
- PA-13** 韓国の中学生における盲導犬の理解と啓発効果
○甲田 菜穂子(東京農工大学)

- PA-14 福祉系大学生の障がい者に対する態度について
情報入手の手段の変化
○岡村 綾子(金城大学)
- PA-15 園芸・造園を通じた学生も含む地域福祉増進について
A市社会福祉協議会との関連性に注目して
○林 典生(南九州大学環境園芸学部)
- PA-16 保育士養成校学生における社会福祉学の理解に向けた新聞活用の実践
○田中 結香(山梨学院短期大学), 中村 成一郎(JCHO山梨病院)
- PA-17 社会福祉士養成教育における演習担当教員の専門職性の課題
教師教育者の専門職性の枠組みからの検討
○小川 智子(城西国際大学福祉総合学部)
- PA-18 福祉専門職養成課程におけるハラスメント問題への対応について
近接領域でのハラスメント研究を先行事例として
○佐々木 将芳(静岡県立大学短期大学部社会福祉学科)
- PA-19 内陸部自治体における仮設住宅に入居する高齢者への支援の実態と課題
社会福祉協議会の支援者へのインタビュー調査より
○小野寺 悦子(宮城大学看護学群), 石附 敬(東北福祉大学総合福祉学部)
- PA-20 ハンセン病療養所における妊娠・出産と産まれた子どもの養育に関する一研究
宮古南静園におえる親子への聞き取り調査から
○Ogura, tsuneaki(東京通信大学)
- PA-21 「地方創生2.0」の意義についての一考察
人口比例と福祉の観点から
○森田 隆夫(群馬社会福祉大学)
- PA-22 DX化／AI活用によるソーシャルワーク実践の変容
人権に基づくアプローチから課題を探る
○山口 麻衣(ルーテル学院大学総合人間学部)
- PA-23 三浦春馬さんの自殺報道に関する分析
新聞紙のテレビ番組表から
○藤原 幸子(九州医療科学大学)
- PA-24 社会的養護経験者の妊娠・出産・子育ての支援
施設職員による支援状況の考察
○吉村 美由紀(名古屋芸術大学教育学部)
- PA-25 学齢期のきょうだい児が抱える問題と環境との関係
問題の“不顕在性”と予防的介入の必要性
○滝島 真優(成蹊大学)
- PA-26 児童養護施設における意見表明等支援事業導入初期の期待と懸念
直接支援職員への質問紙調査に基づく検討
○片山 寛信(北海道医療大学), 米田 龍大(北海道医療大学)
- PA-27 特別養子縁組に子どもを託した生みの母のストレスの検討
WEB上の語りを対象にした二重ABC-X理論による分析から
○西岡 弥生(日本女子大学)

- PA-28** 保育士等を対象とした「こども家庭ソーシャルワーカー」に関する意識調査からの検討(2)
B県内におけるアンケート調査の量的研究の分析から
○立花 直樹(関西学院短期大学), 香崎 智郁代(九州ルーテル学院大学), 灰谷 和代(静岡福祉大学)
- PA-29** 保育士等を対象とした「こども家庭ソーシャルワーカー」に関する意識調査からの検討(1)
B県におけるアンケート調査自由記述の分析から
○香崎 智郁代(九州ルーテル学院大学), 立花 直樹(関西学院短期大学), 灰谷 和代(静岡福祉大学)
- PA-30** アンケートの自由回答に見るスクールソーシャルワークの現状と課題
○山口 倫子(九州ルーテル学院大学)
- PA-31** A市における子育て支援実践のグッドプラクティスと課題
地域における実践活動を通じて
○武田 邦子(岩手医科大学)
- PA-32** 保育現場でのソーシャルワーク専門職による支援の一考察
ソーシャルワーク専門職の支援概念の分析
○鶴田 智子(比治山大学短期大学部幼児教育科)
- PA-33** 社会的養護経験者の大学卒業に向けた支援課題
社会的養護下から大学へ通学経験のある青年を中心に
○平松 喜代江(ユマニテク短期大学), 堅田 明義(中部学院大学)
- PA-34** 「把握・発見機能」と「支援機能」の有機的連携に関する研究
包括的子ども家庭支援を実現するための連携の視点と課題
○岡正 寛子(川崎医療福祉大学), 橋本 勇人(くらしき作陽大学), 森本 寛訓(川崎医療福祉大学), 中川 智之(川崎医療福祉大学), 松本 優作(川崎医療福祉大学)
- PA-35** 自治体における保育所等との共通ツール「子ども家庭アセスメントシート(CFA-S)」活用の普及モデルの構築
ロジックモデルによるデザイン
○灰谷 和代(静岡福祉大学)
- PA-36** 不登校児をめぐる子どもの権利
不登校経験者へのインタビューから考える支援の在り方
○福井 未来(種智院大学)
- PA-37** 経済的に困窮している大学生への包括的な支援の必要性に関する検討
キャンパスソーシャルワーカーへの調査を中心に
○長沼 葉月(東京都立大学), 長沼 洋一(東海大学), 石田 賀奈子(立命館大学)
- PA-38** ヤングケアラー支援につなげるための指標作成に向けて
教員調査、児童生徒調査の知見から
○城戸 裕子(愛知学院大学 心理学部), 松浦 真理子(SBC東京医療大学)
- PA-39** ひとり親とその交際相手で形成されるステップファミリーの生活理解をめぐる一考察
当事者へのインタビュー調査から
○小榮住 まゆ子(椙山女子学園大学)
- PA-40** 母子生活支援施設における地域支援の展開
ソーシャル・アドミニストレーションの視点による施設長インタビュー調査
○吉島 紀江(京都華頂大学), 流石 智子(京都華頂大学), 高岡 理恵(華頂短期大学)

- PA-41** 強度行動障害の状態にあるものへの地域支援体制整備に関する研究
地域支援体制のデータベース化を目指して
○村岡 美幸(国立重度知的障害者総合施設のぞみの園)
- PA-42** 肢体不自由当事者とその家族における「自立観」の相違と変遷(2)
テキストマイニングと M-GTA を用いたインタビューデータの質的分析
○逸見 万葉(NPO法人ペアレントメンターかがわ), 野崎 晃広(四国学院大学)
- PA-43** 障害福祉サービス供給に伴う身体拘束
障害者支援施設を対象とした調査に基づく検討
○勝井 陽子(山口県立大学社会福祉学部社会福祉学科)
- PA-44** 放課後等デイサービスの支援者・保護者を対象とする量的調査(2)
保護者の満足度、支援のニーズ、利用者評価の分析・検討
○八重樫 牧子(福山市立大学), 泉 宗孝(新見公立大学)
- PA-45** 放課後等デイサービスの支援者・保護者を対象とする量的調査(1)
支援者の満足度、支援のニーズ、自己評価の分析・検討
○泉 宗孝(新見公立大学健康科学部地域福祉学科), 八重樫 牧子(福山市立大学)
- PA-46** 知的障害のある人の地域移行支援に対する施設職員の意識
非中山間地域と中山間地域との比較から
○池田 恭聞(社会福祉法人 旭川荘), 加藤 雅彦(新見公立大学),
井上 信次(新見公立大学)
- PA-47** 自立支援協議会をめぐる当事者参加への言及
社会保障審議会障害者部会議事録と国会会議録の分析から
○羽谷 風音(大阪公立大学院)
- PA-48** 障害福祉サービス事業所における工賃向上に向けた取り組みに関する横断研究
○米倉 裕希子(県立広島大学／保健福祉学部),
伊藤 泰三(県立広島大学／保健福祉学部)
- PA-49** 知的障害者が入所している障害者支援施設と地域移行の受け皿の一つとなる
グループホームの現状
○木下 寿恵(静岡福祉大学), 渡辺 央(静岡福祉大学)
- PA-50** 障害者雇用におけるコミュニケーションに関する現状と課題
障害がある労働者とテクノロジーに注目した文献の検討
○銭本 隆行(国際医療福祉大学), 中澤 未美子(山形大学), 小森 淳子(岐阜協立大学)
- PA-51** ペット型ロボットは職場を変えるか? UWESを用いた検討
特例子会社での比較分析から
○中澤 未美子(山形大学 学術研究院), 銭本 隆行(国際医療福祉大学),
小森 淳子(岐阜協立大学)
- PA-52** 知的障害者の医療サービス利用と意思決定支援
がんに焦点を当てた文献整理
○古井 克憲(和歌山大学教育学部)
- PA-53** 障害者ソーシャルワーク教育が障害学から学ぶもの
欧米における議論に見る対話の可能性と今後の方向性について
○松岡 克尚(関西学院大学人間福祉学部), 宮崎 康支(関西学院大学客員研究員),
原 順子(元四天王寺大学)
- PA-54** 障害者支援施設職員の専門性の獲得
試し行動をする利用者への新人職員の対応
○太田 雅代(小田原短期大学)

- PA-55 当事者の視点から見る相談支援事業の役割と体制の研究
○平吹 威一郎(社会福祉法人敦賀市社会福祉事業団)
- PA-56 知的障害を持つ若者の高等学校卒業後の学びの現状と課題
越境する福祉と教育
○木口 恵美子(鶴見大学)
- PA-57 複雑な医療が必要なクリティカルケア児の病態に合わせた支援に関する調査研究
クリティカルケア児の教育方法・環境整備に関する一考察
○宮本 佳子(東京福祉大学大学院博士課程後期), 加藤 洋子(東京福祉大学・大学院)
- PA-58 計画相談支援の可視化に関する研究
相談支援専門員の面接場面の参与観察およびインタビュー調査の結果から
○相馬 大祐(長野大学)
- PA-59 新型コロナ禍における介護資源と健康状態が家族介護者の介護負担感に与える影響
群馬県の認知症高齢者の家族介護者に着目して
○付 豪(東京福祉大学), Kim, Jung-nim(東京福祉大学), 杉原 陽子(東京都立大学)
- PA-60 恩給法からみる介護福祉の構成要素
明治期の看護と介護
○鈴木 真智子(中部学院大学大学院博士後期課程)
- PA-61 過疎市町村における認知症に対応した地域包括ケアシステム
地域ケア推進会議等の会議体と住民参加に注目して
○津田 修治(東京都健康長寿医療センター研究所)
- PA-62 盲養護老人ホームへの適切な入所を阻害する要因の検討
入所基準の経済的理由の解釈について
○清水 正美(城西国際大学福祉総合学部)
- PA-63 グループホームにおける「地域記憶」を用いた回想法的プログラムの実施と評価
DCMIによる観察評価と職員へのヒアリング調査を通して
○伊藤 美智予(日本福祉大学), 中村 裕子(認知症介護研究・研修大府センター),
松尾 弥生(株式会社南阿蘇ケアサービス)
- PA-64 PDCAサイクルの視点から考える介護予防教室の地域最適配置に関する研究
岡山県A市を事例として
○黒宮 亜希子(吉備国際大学 社会科学部)
- PA-65 居宅と施設のケアプランの連動における現状と課題
居宅介護支援専門員と施設介護支援専門員の調査結果を比較して
○檜木 博之(静岡福祉大学)
- PA-66 離島における要介護(支援)高齢者の暮らしの現状と課題(その1)
長崎県北松浦郡小値賀町の場合
○種橋 征子(関西大学), 野田 健(長崎国際大学)
- PA-67 離島における要介護(支援)高齢者の暮らしの現状と課題(その2)
長崎県平戸市大島村(的山大島)の場合
○野田 健(長崎国際大学), 種橋 征子(関西大学)
- PA-68 高齢者の看取りにおける介護職と看護職の連携に関する文献レビュー
○二宮 彩子(城西国際大学看護学部), 小川 智子(城西国際大学福祉総合学部)
- PA-69 市町村における女性支援の展開に向けて
困難な問題を抱える女性への支援に関する法律に基づく都道府県基本計画の分析を
もとに
○岩本 華子(神戸市看護大学), 増井 香名子(日本福祉大学)

協賛等一覧

(順不同・敬称略)

■プログラム冊子広告

大阪大学出版会

株式会社 旬報社

株式会社 ミネルヴァ書房

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

株式会社 法律文化社

公益財団法人 鉄道弘済会

株式会社 ライトストーン

■書籍展示

株式会社 明石書店

株式会社 ミネルヴァ書房

株式会社 ライトストーン

株式会社 生活書院

公益財団法人 鉄道弘済会

株式会社 法律文化社

日本社会福祉学会第73回秋季大会の開催にあたり、皆様よりご協力いただきました。
深く御礼申し上げます。

日本社会福祉学会第73回秋季大会

大会長 小山 隆

実行委員長 空閑 浩人

差別する人の研究 変容する部落差別と現代のレイシズム

阿久澤麻理子 著 部落差別をつくりかえ、再生産するのは誰なのか。現代的レイシズムを基点に、差別「される側」ではなく「する側」の構造をあきらかにする。 1870円

漂流するソーシャルワーカー

福祉実践の現実とジレンマ 志賀信夫・加美嘉史 編著 福祉の担い手としての自分とコスト抑制や能率向上が優先される労働者としての自分との板挟みで苦悩するソーシャルワーカー。このジレンマをどう乗り越えればいいのか。 1980円

なぜ罪に問われた人を支援するのか？

犯罪行為を手離す方法をさぐる 掛川直之 編著 罪に問われた人Ⅱ〈当事者〉と彼らを支える人Ⅱ〈支援者〉6人がみずからの生活史を語る異色のインタビュー集。 1870円

エッセンシャルワーカー

社会に不可欠な仕事なのに、なぜ安く使われるのか 田中洋子 編著 教員、スーパー従業員、介護士、ドライバー……、本物の仕事なのになぜ低待遇なのか？ 頭でつかちで手足をやせ細らせた日本社会をアップデートするために。 2750円

おてらおやつクラブ物語

子どもの貧困のない社会をめざして 井出留美 著 お寺に寄せられるおそなえものを、仏さまからのおさがりとして全国の子どもたちへ。お寺と社会の「ある」と「ない」をつなぐ活動の原点と10年の歩み。 1760円

International Social Work of all People of the World SECOND EDITION

秋元樹・東田全央・松尾加奈 編著 新たな国際ソーシャルワークの概念的構築を試みる意欲的な一冊。 3300円

世界の社会福祉年鑑 2025

16500円

特集：生命の尊重と社会福祉

「すべての生命を尊重し、その価値を認め合う社会」を目指す過程で起こる諸問題を、先端医療技術の進歩を背景とする生命倫理、親子関係、優生思想等に焦点を当てながらグローバルに検証する。

宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博・岡伸一 編著

11月末
刊行予定



旬報社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 544 中川ビル 4F TEL03-5579-8973 FAX03-5579-8975 税込価格

社会福祉研究

第152号 2025年4月発行

定価 2,000円+税 送料実費

特集：大認知症時代の到来ー認知症になっても安心して暮らせるためにー

総論 共生社会の実現を推進するための認知症基本法と
認知症施策推進基本計画

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 栗田 圭一

金融と福祉の連携の可能性ー高齢社会対策大綱で示された資産の見守りー

慶應義塾大学 駒村 康平

各論 認知症フレンドリーコミュニティに向けて

株式会社DFCパートナーズ 徳田 雄人

認知症のひとと家族抜きに私たちのことを決めないで

ー当事者の声を「聴く」ことから始めようー

公益社団法人認知症のひとと家族の会 花俣ふみ代

●巻頭言 ●実践報告 ●2024年社会福祉の回顧と展望 ●海外の動向 ●国内の動向 ●書評 ほか

第153号 2025年8月発行

定価 2,000円+税 送料実費

特集：若者支援ー困難を抱えた女性に焦点を当ててー

総論 若年女性が抱える生きづらさと女性支援法の意義と課題

城西国際大学 堀 千鶴子

若者支援と若年女性支援ー若年女性を支える実践の到達と課題ー

大谷大学 岡部 茜

各論 若年女性に対する個別的・包括的・継続的な支援の取り組み

社会福祉法人豊生会「こどもと女性包括支援センターhalu」 大神 嘉

制度を活かしたゆるやかな支えのかたち

ーれもんハウスでのショートステイを通じた女性たちの安心と信頼の回復ー

一般社団法人青草の原 藤田 琴子

社会的養護を経験した若年女性へのアフターケア

聖隷クリストファー大学 泉谷 朋子

支援する／されるを超えてーケアリーバーをめぐる構造と関係性ー

NPO法人Giving Tree 畑山 麗衣

論文 社会福祉法人の地域貢献活動の現状と可能性ーインタビュー調査からの考察ー

神奈川大学 妻鹿ふみ子

●巻頭言 ●「第61回社会福祉セミナー」報告 ●随想 ●海外の動向 ●国内の動向 ●書評 ほか

公益財団法人鉄道弘済会『社会福祉研究』編集室

〒112-0002 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデンゲートタワー19階 TEL 03-6261-2790



本誌
詳細



ご注文

■書店売り
■直接購読は、
右記へお申し
込みください。

技能実習生と日本語のリアル

これからの外国人労働者受け入れ制度と日本語教育のために◎道上史絵
問題なのは日本語教育だけではない。彼らを取り巻く社会と受け入れ制度の在り方だ——ベトナム出身の技能実習生への量的・質的調査を通じ、日本語学習・使用の実態を解明。現実に即した日本語教育施策の必要性と受け入れのあり方について提言する。A5判・三五六頁、六〇五〇円

改訂版公共経営学入門

公共経営の入門テキスト、待望の改訂版！大学教養レベルを念頭に基礎知識をわかりやすく解説。今版では公衆衛生や環境問題、国際関係に関する記述を強化、ソーシャルビジネスやCSRなど新たな社会問題解決主体や社会関係資本の重要性にも注目する。A5判・三三二頁、二九七〇円

コ・プロダクションの理論と実践

参加型福祉・医療の可能性◎斎藤弥生、ヴィクトール・ペストフ 編
包括ケアを実現するカギとなるのは、医療と福祉サービスへの市民参加である——「地域包括ケアシステム」のモデルとなりうる、専門職と市民（利用者）が対等な立場で参画する、日本の医療・介護供給体としての協同組合の可能性を実証的に検討。A5判・三三八頁、六四九〇円

介護サービスと市場原理

効率化・質と市民社会のジレンマ◎金谷信子
準市場化された日本の介護保険サービスは期待された役割を果たしたのか。営利法人と非営利法人のサービスの質の相違、利益拡大・効率化に伴う得失、介護職員の理想とするケアと利用者への公平性の保持など、市民社会に与えてきた影響を検証する。A5判・二二六頁、四六二〇円

外国人介護士と働くための異文化理解

渡辺長 編著
外国人介護士を受け入れる施設管理者や現場の介護福祉士、医療福祉系の職種を目指す学生を対象として、介護観・家族観・死生観など文化背景の異なる外国人介護士への理解を深め、ともに働きやすくなるコツを伝授。現場で使える各国語リスト付き。A5判・三〇四頁、三一九〇円



大阪大学出版会

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-7 大阪大学ウエストフロント
Tel:06-6877-1614 Fax:06-6877-1617 HP:www.osaka-up.or.jp
直接ご注文は E-mail: eigyo@osaka-up.or.jp へ《上記価格税込》



全国社会福祉協議会 出版部

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

全社協出版部受注センター

TEL.049-257-1080

https://www.fukushinohon.gr.jp/ FAX.049-257-3111 zenshakyo-s@shakyo.or.jp

社会福祉の新しい方向を探る総合月刊誌

月刊福祉

毎月6日発売

●B5判・104頁
●定価 1,170円(税込)

定期購読は
送料無料

- 11月号 意思決定支援の現在地
- 12月号 地方自治体と福祉のこの先
- 1月号 超高齢社会における高齢者介護



2025年
バックナンバー

- 10月号 “ごちゃまぜ”の実践が生み出すもの
- 9月号 災害列島で求められる福祉の支援
- 8月号 今改めて虐待に向き合う
- 7月号 広がる女性支援
- 6月号 AIと人と福祉
- 5月号 すべての子どもを支えるために
—子ども家庭福祉の今と求められるアクション—
- 4月号 社会福祉法人の事業展開
—地域で福祉を維持するために—
- 3月号 権利擁護支援を地域に行き届かせる
—成年後見制度の見直しを見据えて—
- 2月号 地域で活躍する人、福祉への参加を広げよう
- 1月号 地域共生社会とこれからの社会福祉



社会福祉士養成テキスト
社会福祉
学習双書 2025 全15巻

「社会福祉学習双書編集委員会 編

全15巻セット44,110円(税込)

1冊からでもご購入いただけます
※各巻定価 2,420～3,410円(税込)

各界を代表する著名人が執筆・編集を担い、最新の情報・知識をより深く探求し、より幅広く理解できる、真のソーシャルワーカー養成テキストです。



最新情報に年次改訂！

- 第1巻 社会福祉の原理と政策
- 第2巻 福祉サービスの組織と経営
- 第3巻 高齢者福祉
- 第4巻 障害者福祉
- 第5巻 児童・家庭福祉
- 第6巻 社会保障
- 第7巻 貧困に対する支援
- 第8巻 地域福祉と包括的支援体制
- 第9巻 ソーシャルワークの基盤と専門職
- 第10巻 ソーシャルワークの理論と方法
- 第11巻 心理学と心理的支援
- 第12巻 社会学と社会システム／社会福祉調査の基礎
- 第13巻 権利擁護を支える法制度／刑事司法と福祉
- 第14巻 医学概論／保健医療と福祉
- 第15巻 介護概論

—— 社会福祉の発展に資する研究成果を支えるプラットフォームを目指す ——

社会福祉研究叢書

現在そしてこれからの国民生活の向上を図るため、さらなる拡充が求められる社会福祉。その要請に応えるべく社会の変化を捉えながら進展（学際化・個別化）する社会福祉学の最先端の研究成果を紹介する。

〈A5判・上製・206～320頁〉

1 認知症のある人への経済支援

——介護支援専門員への期待

竹本 与志人 著 4,950円（税込）

2 障害者ジェンダー統計の可能性

——実態の可視化と課題の実証的解明をめざして

吉田 仁美 著 5,940円（税込）

3 ソーシャルアクション・モデルの形成過程

——精神保健福祉士の実践を可視化する

小沼 聖治 著 4,400円（税込）

4 現代韓国の福祉事情

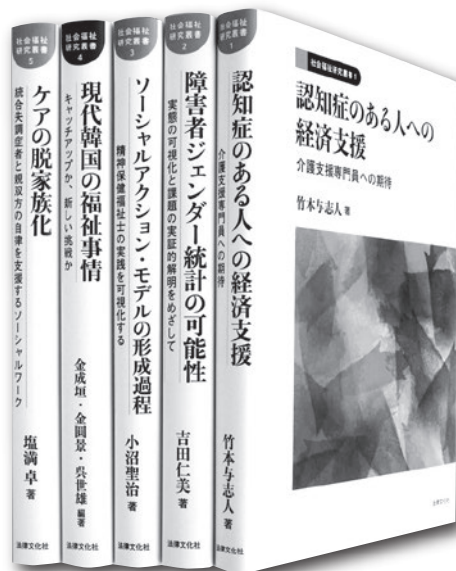
——キャッチアップか、新しい挑戦か

金 成垣・金 圓景・呉 世雄 編著 6,270円（税込）

5 ケアの脱家族化

——統合失調症者と親双方の自律を支援するソーシャルワーク

塩満 卓 著 6,380円（税込）



～ 社会福祉士（国家資格）養成課程のカリキュラム内容に準拠したテキストシリーズ 刊行開始！ ～

社会福祉を学ぶ50の扉

各科目の基本を50の項目（1項目基本4頁構成）に分け、わかりやすく解説。読者の学びの状況に合わせ、知りたいところから学ぶことができる。

〈B5判・並製・各巻約220頁〉

高齢者福祉 竹本 与志人・神部 智司・杉山 京 編著 2,750円（税込）

貧困に対する支援 岩永 理恵・野田 博也 編著 2,750円（税込）

障害者福祉 木下 大生・與那嶺 司 編著 2,750円（税込）

● 今後の刊行予定 ●

2025年秋頃
こども家庭福祉
地域福祉
社会福祉の原理と政策

社会福祉士養成課程カリキュラムに対応。社会に求められる専門職としてのソーシャルワーカーを養成するため、ソーシャルワークの理論を体系的に概説。

ソーシャルワーク論Ⅰ 基盤と専門職

木村 容子・小原 眞知子 編著 B5判／214頁／2,860円（税込）

社会福祉士・精神保健福祉士養成課程の共通科目「ソーシャルワークの基盤と専門職」に対応。

ソーシャルワーク論Ⅱ 理論と方法

小原 眞知子・木村 容子 編著 B5判／240頁／2,970円（税込）

社会福祉士養成課程の科目「ソーシャルワークの理論と方法」「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」に対応。



法律文化社

〒603-0853 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町71
TEL 075-702-5830 FAX 075-721-8400

URL <https://hou-bun.com/>
E-mail eigyo@hou-bun.co.jp



企業展示
ブース
にて

技術スタッフによるデモンストレーション実施中!

2025年4月新バージョンリリース

統合統計
ソフトウェア

STATA®

Mac
Windows
Linux
対応

製品特長 ①

豊富な解析機能

クロス集計、分散分析、回帰分析、因子分析、メタ分析、
構造方程式モデリング、ベイズ統計など

製品特長 ②

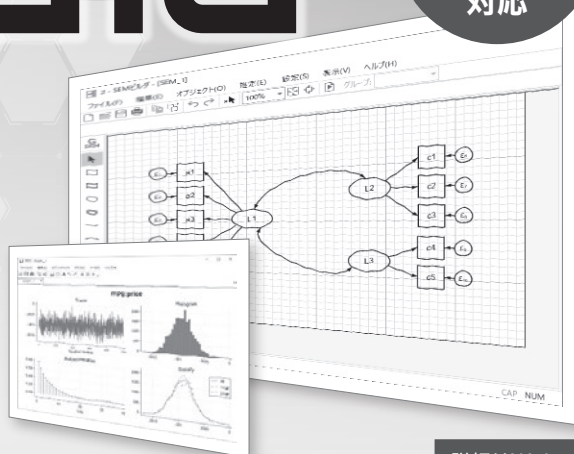
モジュール追加購入は不要

Stataの全ての機能をご利用いただけます。機能拡張の
ためのモジュールを追加購入する必要はありません。



✓ SPSSとSASのデータ形式に対応

✓ メニュー操作とコマンド操作の
両方に対応



詳細はWebで!



質的データ分析なら

MAXQDA

Mac
Windows
両対応
完全互換



日本社会福祉学会ご来場者様限定

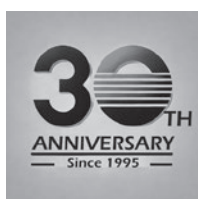
✓ じっくりおためし! 特別ライセンスご提供

✓ MAXQDA使い方ガイド (日本語PDF)

詳細はWebで!



30年の経験と実績でお客様をサポートします。



正規国内代理店

LightStone®
株式会社 ライトストーン

Ubiquitous AI
Group Company

〒101-0031 東京都千代田区東神田2-5-12 龍角散ビル7F
<https://www.lightstone.co.jp/> E-mail : sales@lightstone.co.jp

開発元

StataCorp LLC

Stata is a registered trademark of StataCorp LLC,
College Station, TX, USA, and the Stata logo is used
with the permission of StataCorp.

VERBI

Software – Consult –
Sozialforschung GmbH

VERBI Software, Consult, Sozialforschung GmbH

空閑浩人著

ソーシャルワークという

「希望」

分断する社会の中で考える支援の根っこ

マンガ・小説・映画等から、ソーシャルワークを定義している言葉や実践等の糧になる言葉を引用し、その使命・役割・魅力や可能性を探る。【近刊】予価2750円

C・ピアソン著 堀江孝司／近藤康史／武田宏子訳

平等への戦略

ポスト・コロナ時代の
福祉国家とイギリス政治

これからの福祉国家は「平等への戦略」を軸として資産の不平等を解消するための政策を展開していくべきとイギリスの事例を基に提言。【近刊】予価3850円

加藤昭宏著

社会的孤立への

地域福祉推進の羅針盤

コミュニティソーシャルワーク実践

複数の社会福祉協議会での実践経験から、コミュニティソーシャルワーク実践と重層的支援体制整備事業の効果的な展開のあり方を探る。

2640円

口村 淳著

映画の中のソーシャルワーク

●トレンドの理解とリアリティへの接近 二〇本の映画を通して社会問題・理不尽な状況への関わり方を解説。映画を通して現場を追体験できる一冊。 3080円

西尾雄志／齊藤ゆか／高見大介編著

「利他」から考えるボランティア学入門

ボランティアに興味がない人も対象に、「利他」について考え、従来のボランティア学の射程を広げる入門書。

【近刊】2750円

谷口純世著

社会的養護を必要とする子どもと権利擁護

●意図的支援の積み重ねによる権利を守る力の体得 生き直す力を信頼・支援するために。子ども・支援者双方の語りから、意図的支援のプロセス・効果を検証。 6600円

堀場純矢著

児童養護施設の労働問題

●子ども・職員双方の人権保障のために 全国各地の施設への調査を基に、施設職員の労働環境を改善するための方策を提示する。 7150円

伊藤葉子／川村岳人／中田雅美／橋川健祐／三好禎之編著

新しい地域福祉の「かたち」をつくる

●「福祉コミュニティ」概念に基づく政策・実践の統合 持続可能な地域社会を構築するための方策を「曼荼羅」のごとく展望した一冊。 8800円

日本介護福祉学会編

介護福祉学の到達点と将来像

●実践知と専門性に基づく質の確保 「いのちを守り、生きる力を強め、生活の質を高める」ために求められる専門的な知識・技術を探究する。 3080円

石田成則編著

ソーシャル・キャピタルからみた都市社会政策

●分断社会から包摂社会へ 分断を乗り越える新たな社会政策の提言。 【近刊】3300円

湯浅正太著

小児神経科医が伝える！「ゆくり学」のススメ

●親子のつながりを深め、子どもに愛を注ぐための秘訣 【近刊】2200円

ジェフ・マルガン著 新川達郎監訳

ソーシャル・イノベーション新論

●社会的想像力がひらく未来 よりよい社会を実現する「想像力」とは。【近刊】予価4400円



日本社会福祉学会
Japanese Society for the Study of Social Welfare

一般社団法人日本社会福祉学会 第73回秋季大会

2025年10月 発行

主 催 一般社団法人 日本社会福祉学会
日本社会福祉学会第73回秋季大会実行委員会

受 付 窓 口 日本社会福祉学会大会ヘルプデスク第73回秋季大会係
(〒162-0801東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター)

大会対応窓口 株式会社ユピア E-Mail: jssw@yupia.net


1875-2025 ANNIVERSARY
The Doshisha